



## 夏休み短期スイミングスクールで 泳ぎの基本をしっかりマスター（温水プール）

主な内容

- 越後加茂川夏祭りに44,000人……………②④
- 小学生女子ドッジボールチームが  
全国大会準優勝……………⑤
- 総体の結果……………⑥
- 消防団ポンプ操法大会開催……………⑦
- 歯の健康「健康寿命と口腔」……………⑦
- 加茂の風土記……………⑧

加茂病院は加茂市の宝 加茂病院を盛り立てましょう  
「美人の湯」も加茂市の宝 美人の湯をよろしく願ひいたします

# 第28回 越後加茂川夏祭り



44,000人のにぎわい



今年の大人気 ウキウキ桃釣り大会

今年も八月十四日、越後加茂川夏祭りが開催されました。午後から諏訪橋と栄橋間の河川敷で始まったイベントには、フィナーレの大ナイアガラ花火まで約四万四千人の観客でにぎわいました。

夕日コンサートが終わり、大盆踊り大会が始まるのを待つ中、会場中央の右岸ステージでは、第二十八回越後加茂川夏祭り実行委員会委員長の太田明加茂商工会議所会頭が「水害で悩まされた加茂川は改修され、今では市民の憩いの

場として親しまれています。この夏祭りは水害のないことを願って始められたことを思い出して、最後の花火まで楽しんでください。」とあいさつされ、続いて実行委員会長の小池清彦加茂市長が「この加茂川夏祭りの一番の見どころは打ち上げ花火です。二キロのナイアガラ花火は日本一と言われていきますので、打ち上げ花火も三尺玉をといいたいが、打ち上げる場所がないので二尺玉しか上げられません。しかし、打ち上げ場所が近いので開いた花火は三尺玉に見えますので、楽しいひとときを



縁日ひろばには4種類のゲームが登場



越後加茂川夏祭り実行委員会会長の  
小池清彦加茂市長とミス雪椿の3人



越後加茂川夏祭り実行委員会委員長の  
太田明加茂商工会議所会頭



中沢けんじさんの夕日コンサート

お過ごしください。」とあいさつ  
しました。  
開会セレモニーの前に、午後一  
時から始まった最初のイベント  
「ウキウキ桃釣り大会」には、ス  
タートと同時に順番を待つ行列が  
でき、人気の高さがうかがえまし  
た。今年は「モモ」をきれいに直  
したそうで、釣り上げようと集中  
する子どもたちの目にも鮮やかな  
モモ色が映えていました。縁日ひ  
ろばには、パターゴルフとボール  
投げ、スーパールボールすくい、ヨ  
ーヨー釣りがならび、子どもだけ  
でなく大人もいっしょに楽しんで  
いました。



よさこいと御神輿の競演

日中の気温は三十度を超え、会  
場内は水分補給と休息で熱中症予  
防を呼びかけるアナウンスがあり、  
おいしんぼ広場でかき氷や冷たい  
飲み物を求める行列もできていま  
した。  
午後二時からの「かつごう加茂  
川夏祭り」には約百名の半てん・  
はっぴ姿の担ぎ手が、半てん合わ  
せののち、御神輿を担いで会場内  
を盛り上げました。対岸の左岸特  
設ステージでは、加茂川ダンス甲  
子園がスタート。十二チームが出  
場し、それぞれメンバーの息の合  
ったダンスを披露しました。ダン  
スの後は、よさこいソーランと御



保育園児・幼稚園児たちが作った灯ろう



加茂川ダンス甲子園には12チームが出場



大勢の人が楽しみにしていた大ナイアガラ花火



ミス雪椿の三人も大盆踊りに参加



約1,000発の大花火大会



加茂川を囲む加茂松坂の踊りの輪

神輿の競演です。市内のよさこいチーム「あつてねえ」と市外から二団体が参加して、御神輿とよさこいチーム全員、そして観客の皆さんがいっしょになって踊りを披露しました。

このあと、夕暮れが近づくと、市内全ての保育園、幼稚園の園児たちが作った灯ろうが、栄橋下の仮橋から流されました。自分の作った灯ろうを追いかける子どもたちと、流れる灯ろうを見守る人たちの中で、夜のイベント行事が始まりました。

夕日が弥彦山に消えそうになる

と、左岸特設ステージは昨年復活した夕日コンサートが開演しました。今回の出演者は元日20の中沢けんじさんで、ギターを弾きながら歌う声はデビュー当時と変わらず、河川敷の観客は加茂川に流れる数々のヒット曲を楽しみました。

コンサートが終わると、二つの仮橋で加茂川を囲み、大盆踊り大会がスタート。お揃いの浴衣やはつぴの団体のほかに、お盆を加茂で過ごす人たちや同級生が加茂松坂の輪に加わりました。

午後八時三十分からの大花火大会は、会場内のカウントダウンで点火された噴水花火で始まりました。若宮公園から打ち上げられる花火は、次から次へと夜空にひらき、ファイナールの二尺玉三連発と二キロメートルの大ナイアガラ花火に点火されました。河川敷や兩岸の道路から間近に見る大ナイアガラ花火は、加茂川に沿って流れ落ち、連日の暑さを忘れさせてくれました。

夏の風物詩として大勢の人が訪れる越後加茂川夏祭り。来年の夏もまた楽しませてくれることでしょう。

## 第4回 全日本女子ドッジボール選手権 準優勝



### 県勢初の快挙 KENO Hホワイトエンジェルス

八月二十四日、全国二十五都府県から四十四チームが出場して、東京で開催された第四回全日本女子ドッジボール選手権全国大会に「KENO Hホワイトエンジェルス」は新潟県代表で出場しました。予選リーグを一位で通過し、決勝トーナメントに進出。そこで三試合を勝ち抜き、県勢初の決勝戦進出を決めました。

KENO Hホワイトエンジェルスは、加茂レッドファイヤーを中心に、ただだレインボー（三条市）、長沢ブルーモンスター（三条市）、ブラックタイガー（三条市）、木山パワーズ（新潟市）の女子選手が集まった合同チームで、それぞれのチームの練習のほかに、女子メンバーが集まって練習するそうです。

小池加茂市長は準優勝を報



阿部李保さんのメダルを手にする小池市長

告した選手たちに「見せていただいたメダルは、オリンピックのメダルと同じくらい価値があります。大切にしてください」と話しました。選手たちからは「ここでは、チームメイトだけでなく普段はライバルたちです」と話し、キャプテンの阿部李保さん（加茂南小六年）は「次は優勝をめざしてがんばります」と応えてくれました。

# 総体結果



## 登山

期日 七月二十七・二十八日

会場 平ヶ岳(魚沼市)

※登山は、一般参加者・山岳会指導者など三十三名で行われました。



## 硬式テニス (ダブルス)

期日 七月二十八日

会場 庭球場(駒園)

※各クラスの男子・女子の部ともAクラスを含めて実施しました。

【男子】▼Aクラス①片岡謙作・袴

田敏尚(加茂ローン)②山口茂之・

小林鈴依(加茂ローン)③小林勇・

高橋富雄(グレイト)

【女子】▼Aクラス①志田美津子

(グレイト)・中山佐和子(シテイ

サークル)②林住代・佐藤桂子(グ

レイト)③大桃さおり(加茂テニ

ス)・須田朝子(シテイサークル)



## 水泳

期日 八月四日

会場 市民プール

※「A C」は「加茂アクアコミュニ

### 【小学生男子】

▼50 m自由形①有本翔真(A C) 31

秒07②矢部朋載(下条小)③小林高

良(A C)▼50 m平泳ぎ①吉田稜太

(A C) 43秒12②小林優聖(A C)

▼50 mバタフライ①吉田稜太37秒57

②坂井風(加茂西小)③矢部朋載▼

50 m背泳ぎ①小嶋朝陽(A C) 51秒

26②安中佑太(A C)③小林嵩良▼

100 m自由形①有本翔真1分9秒70②

坂井風▼100 m平泳ぎ①小林優聖1分

56秒17②皆川武蔵(A C)▼200 m

個人メドレー①小嶋朝陽3分41秒63

▼200 mリレー①加茂アクアコミュニ

ニティ a 3分0秒72②加茂アクアコ

ミュニティ b

### 【小学生女子】

▼50 m自由形①土橋輝(A C) 32秒

18②安中莉椰(石川小)③野村茉央

(石川小)▼50 m平泳ぎ①皆川いろ

は(A C) 50秒26②長澤望愛(A

C)③鈴木芽依(A C)▼50 m背泳

ぎ①鈴木芽依50秒50②田口令亜(A

C)③安中莉椰▼100 m自由形①坂井

椿(加茂西小) 1分34秒40▼100 m平

泳ぎ①皆川いろは1分53秒47②坂井

椿▼100 mバタフライ①田口令亜1分

49秒97▼200 m個人メドレー①土橋

輝2分49秒30▼200 mリレー①加茂

アクアコミュニティ2分40秒87②加

茂西小

### 【中学生男子】

▼50 m自由形①浅野真希(A C) 30

秒38▼50 m平泳ぎ①星野雅斗(A C)

41秒99▼50 m背泳ぎ①大野一真(加

茂中) 33秒53大会新▼50 mバタフ

ライ①大野一真29秒87▼100 m自由形①

浅野真希1分6秒26▼100 m平泳ぎ①

鈴木雅也(A C) 1分28秒55②星野

雅斗▼100 m背泳ぎ①鈴木雅也1分13

秒78▼400 mリレー①加茂アクアコ

ミュニティ4分21秒25

### 【中学校女子】

▼50 m自由形①小嶋のどか(A C)

32秒12▼50 m平泳ぎ①土橋聖(A

C) 36秒42大会新▼50 m背泳ぎ①田

口由亜(A C) 32秒00大会新②吉田

玲菜(A C)▼100 m自由形①小嶋の

どか1分12秒11▼100 m平泳ぎ①土橋

聖1分20秒51大会新▼100 m背泳ぎ①

田口由亜1分9秒14大会新②吉田玲

菜▼100 mバタフライ①小林祥子(A

C) 1分7秒75大会新▼200 m自由

形①小林葵(A C) 2分25秒72▼二

100 m個人メドレー①小林祥子2分36

秒16大会新②小林葵2分46秒37大会

新▼400 mリレー①加茂アクアコミ

ュニティ4分17秒94大会新

### 【高校一般男子】

▼50 mバタフライ①浅野真一(D

S T A R S) 34秒34▼100 mバタフ

ライ①浅野真一1分17秒71

### 【高校一般女子】

▼50 m自由形①今井翼(A C) 36秒

88▼50 mバタフライ①今井翼40秒31

### 【壮年男子】

▼50 m自由形①小林誠(A C) 40秒

91▼50 m平泳ぎ①酒井仁治(石川小

教) 48秒49▼50 m背泳ぎ①小林誠51

秒60

### 【最優秀選手賞】

▼小学生男子 有本翔真(A C)

▼小学生女子 皆川いろは(A C)

▼中学生男子 大野一真(加茂中)

▼中学校女子 田口由亜(A C)



## 野球

期日 八月四・十一・十八日

会場 七谷・川西野球場

### 【一般の部】

優勝 Y A W A T A

準優勝 フェニックス

### 【壮年の部】

優勝 後須田

準優勝 番田野球クラブ

### 【中学生の部】

優勝 七谷中学校

準優勝 若宮中学校

## 加茂市消防団ポンプ操法大会



八月十八日、石川小学校グラウンドで、消防団ポンプ操法大会が行われました。自動車ポンプの部では八つの分団各部、小型動力ポンプの部では二十四の分団各部が出場し、約六十五m先の目標に向かってホースをつなぎ放水・鎮火するまでの時間・操作・動作などを競いました。成績は、自動車ポンプの部が第3分団第1部（番田、寿町、旭町、大郷町）が、小型動力ポンプの部では第3分団第4部（第24区、第25区）が一位でした。消防団の皆さんは、日ごろから、訓練や防火広報など地域の安全活動をおこなっています。



### 健康寿命と口腔の密接な関係

口腔は、全身の健康を保つためにとっても重要です。特に健康寿命と口腔には密接な関係があります。

健康寿命とは、日常で介護を必要とせずに自立した生活のできる期間を指します。厚生労働省では、その数値を発表しています。二〇一〇年の平均は男性は七十・四二歳、女性は七十三・六二歳でした。一方、同じ二〇一〇年の平均寿命は男性七十九・五五歳、女性八十六・三〇歳。両者の間に男性約九年、女性約十三年のギャップがあります。これは、介護などを必要とする期間にあたります。

厚生労働省は、運動や食習慣などを改善することで、健康寿命を約一・六年以上伸ばすことを提案しています。高齢になるとどうしても認知症や寝たきりといった問題が生まれます。

この問題に口腔、つまり口や歯の健康が深く関わっているのです。



また、脳卒中や心臓病、糖尿病などの発症と悪化にも口腔が深く関わっていることが分かっています。自分の歯がたくさん残っていると、全身疾患のリスクが低く、長生きになるというデータが、さまざまな国の研究から報告されています。

具体的には、歯がある人となし人を比べると、残りの寿命が全然違います。歯を失った人のその後を観察すると、急に身体にいろいろな症状が出たり、生活習慣病の発症率が高くなったりしているのです。この他にも歯がなくなることは、がんの発症や死亡に関係があるといわれています。歯が無いということは、特に消化器系のがんの発症と関連が高いと言われています。（加茂市歯科医師会）

# 森田千庵せん あんの京都での蘭学修業

加茂の森田千庵（一七八一〜一八三六）が医学や蘭学らんがくの修業に大きな意味を持つ京都の蘭方医藤林普山ふじばやしふさんに入門したことは、本紙六七八号で述べた。今回はいつ修学のきっかけがあったか、また京都での勉強ぶりについてみてみたい。

京都修学は父親で医者いしやの森田甫三はふぞとも交流があった藤林普山が、文政三年（一八二〇）に越後に来遊したことにあった。具体的な来遊地は明らかでないが、この中に加茂の森田家もあった。これは「京都より藤林普山、越後に来遊ス」（長岡市和田氏所蔵「森田家系図」）とみえ、さ

らに文政三年秋の九月四日に帰京し、加茂滞在中の礼を述べ、来春早々、千庵の上京を待っているという九月十一日付けの普山の書簡（青山学院大学附属図書館所蔵文書）からも確認できる。父の勧めもあり、千庵は十四歳から学んでいた古医学から新しい蘭医学を目指すことになった。上京は千庵の満二十三歳の文政四年で四月八日に京に着き、父甫三に入門を報告している（同）。入塾後二か月ほど経った六月二十二日付けの書簡に、道中の小遣いや、これまでに求めた書籍、これから購入したい医学書などを細かく報告している

（同）。購入した書籍には宇田川玄隋うだがわげん訳述の『内科撰要』、宇田川玄真うだがわげん訳の薬学書『和蘭薬鏡』、藤林普山ふじばやしふさん訳述の蘭和辞典『訳鍵』、同『和蘭語法解』など医学書や蘭書があった。また血管などに挿入するカテーテル一本を金三分二朱で求めている。求めたい書籍に海上隋鷗うながみずいおうの蘭和辞典『ハルマ和解』、解剖書『八譜』などをあげて、父親にもう十兩ほども欲しいと送金催促している。また書簡に「先生の代脈に出たおり余り衣装が見苦しいと外間にもなる」と着物にも意を払っていたことが書かれ、まだ二か月ほどしか経たないのに千庵は、先生の普山に代わり患者の往診にも出ていたことがわかる。

修業一年ほど経った文政五年三月四日付けの甫三宛て普山の書簡に「令郎バタバ局方というものを手に入れ、ほかの蘭書も手に入れ興味をもって追々励んでいる」と報告している（同）。

千庵の京都修学は文政五年八月に終わっているが、一旦加茂に帰郷後、さらに翌六年四月には江戸の宇田川玄真・榕庵げんあんの塾に入門し蘭語の研鑽にでかけるのであった。

「バタバ局方」（オランダの薬の基準書）下に「M.sennan」千庵の署名がある（九州大学所蔵）

（関 正平）



夏休み短期スイミングスクール  
ビート板を使った練習に子供たちは集中。

おにぎり  
おにぎり

## 社会福祉費寄付金

▼近藤喜栄さん（矢立）から  
十万円

## 人口のうごき

8月1日現在  
世帯 10,274 (+11)  
人口 29,785 (-18)  
男 14,374 (-12)  
女 15,411 (-6)  
( )内は前月比  
(7月異動分)  
出生 8 (男6女2)  
死亡 26 (男18女8)  
転出 49 転入 49